

## 経営成績

当第2四半期においても、CRO・SMOの両市場は堅調に成長を続けました。CSO市場は海外企業の参入もあり、競争が激化していますが、市場は堅調に拡大しています。一方、IT関連市場は不況の影響で低迷しています。

以下にセグメント別の概況を報告します。なお、マネジメントアプローチの導入に伴って当期から報告セグメントを変更したため、セグメント業績の前年同四半期連結累計期間(以下、前期)との比較は非公式なものです。

### ●CRO関連事業

モニタリング業務は、新規プロジェクトの獲得などによって前期比で売上が伸長しました。同様に売上の前期比較において、統計解析業務、安全性情報業務、メディカルライティング業務は増加しましたが、登録・進捗管理業務は微減、データマネジメント業務、データセンター業務、臨床研究推進センターは減少となりました。以上の結果、当社個別ベースでは前期比で増収減益となりました。

連結子会社に関して、国内では、派遣型CRO業務を行う株式会社イーピーメイトがモニターサービスの増加によって前期比で大幅な増収増益となりました。一方、新たにBPO(Business Process Outsourcing)業

務を担う会社として2010年12月に設立したEMS株式会社は、業務開始に必要な先行投資的費用が発生しています。

海外では、EPSインターナショナル株式会社とそのグループ会社とともに苦戦しつつも、主にアジアでの新規受注に傾注しています。益新(中国)有限公司は、中国でのデータマネジメント業務、創薬業務、ヘルスケア業務の本格稼働に向けて準備を進めています。

非臨床業務を行うエルエスジー株式会社グループは、海外研究機関への受託案件紹介による代理店サービス収入があり、前期と比較して増収増益となりました。

以上の結果、CRO関連事業の連結売上高は9,986百万円(前期比3.9%増)、連結営業利益は1,539百万円(同26.8%減)の増収減益となりました。

### ●SMO関連事業

株式会社イーピーメントは新規受注が増加し、前期比で増収増益となりました。また全面顧問股份有限公司は、台湾において新規案件の獲得に努めています。これらの結果、SMO関連事業の連結売上高は2,280百万円(前期比11.6%増)、連結営業利益は430百万円(同7.1%増)と、増収増益となりました。

## ●CSO関連事業

株式会社ファーマネットワークは、前期と比較して大幅な増収となりました。株式会社メディカルラインは前期比で増収と堅調ですが、薬剤師などの採用に関する先行投資を実施したため減益となりました。これらの結果、CSO関連事業の連結売上高は2,445百万円(前期比21.9%増)、連結営業利益は23百万円と黒字転換を果たしました。

## ●IT関連事業

オーラインソフトウェア株式会社は、中国のグループ会社がIT不況の影響を受けたことなどから前期比で減収となりましたが、コスト削減によって赤字幅を縮小しました。イートライアル株式会社は引き続き新規受注に努め、前期比で増収増益となりました。これらの結果、IT関連事業の連結売上高は791百万円(前期比23.6%減)、連結営業損失は経費削減によって、8百万円に縮小しました。

上記の経営成績はセグメント間の内部取引を含んでおり、それを控除した結果、連結売上高は15,291百万円(前期比5.3%増)、連結営業利益は1,987百万円(同18.7%減)、連結経常利益は1,994百万円(同18.8%減)、四半期純利益は716百万円(同44.6%減)と増収減益となりました。

## 配当について

当社は2010年3月31日を基準日として、株式1株につき2株の株式分割を実施しました。

2011年9月期(第21期)の配当金は、1株当たり3,500円(第2四半期1,600円、期末1,900円)を予定しています。

### 配当金の推移

